

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

事業所名:みらいずリズム大曲

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	音楽プログラムの活動に合ったスペースの確保となっている。活動によって、カーテンで部屋を間仕切り、活動の用途に応じて2グループに分けるなどして使用している。
	2	職員の配置数は適切であるか	100%	0%	0%	児童の人数に応じた適切な人数配置となっている、また、活動の役割を決め、よりよい支援を提供できるように工夫、改善を適宜行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%	0%	0%	玄関は階段とスロープが設置されている。また、事業所内はバリアフリーとなっている。適宜、児童の動線を見ながら、安全な環境構成かを定期的に見直し、再構成を行っている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	100%	0%	0%	朝昼夕とミーティングを行っている。また、療育プログラムについて日頃から模擬練習を行い、基本の流れや、児童のエラー時の対応について、考え実行に移している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	100%	0%	0%	意向を確認しながら、よりよい支援を提供できるように取り組んでいる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100%	0%	0%	ホームページで公表している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	0%	100%	現在外部評価を行っていない為、業務改善に向けて検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100%	0%	0%	社内外の各種研修を受けている。また、社内研修では全職員が学べる時間を確保している。(集合研修、オンライン研修の活用)
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	アセスメントシートを活用。情報収集をし、どのような支援が必要か検討、計画に盛り込んでいる。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100%	0%	0%	全事業で同じアセスメントツールを使用している。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	100%	0%	0%	チーム編成はしていないが、全員で立案し、意見を言い合えるような機会を設けている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100%	0%	0%	同じ活動でも、毎月、季節や発達を踏まえた内容を検討、教材作成をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100%	0%	0%	支援活動時間に合わせて活動内容の検討、グルーピングを実施。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%	一人一人の特性や苦手とする項目に合わせた援助を行えるように、立案している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100%	0%	0%	よりよい支援となるよう、療育開始前後に欠かさずミーティングを行っている。 また、ミーティングの中で共有された課題に対し、適切な支援方法を職員全体で話し合い、実行している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	振り返りでの気づきを、次回の支援につなげられるように工夫し、話し合ったり、メモを取ったりしている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%	ケア記録の他にもメモを取り、利用時に前回の支援が生かされるようにしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	半年ごとにモニタリングを行う。また、必要に応じて都度行っていく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	100%	0%	0%	療育プログラムを踏まえて、一人一人に合わせた支援を領域ごとに考え、支援に向けた計画を考えている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	児童発達支援管理責任者、管理者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	100%	0%	0%	保護者様より月間予定表を共有してもらっている。また、都度保護者から連絡をもらえる体制をつくっている。
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	0%	100%	0%	10月オープンにつき、このような機会がなかった。今後、就学前後、対象児童に対して、必要に応じて情報共有に努めていく。
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0%	100%	0%	これまで対象児童がいなかったため、実施していないが、今後対象児童に向けて、取り組んでいきたい。
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100%	0%	0%	保護者様を介して、医療療育センターからの助言を受け、参考にしている。
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0%	0%	100%	交流する機会の検討をしていく。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	100%	0%	0%	マネージャーが参加、都度情報共有してくれている。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100%	0%	0%	関係機関や保護者対応でリズムの活動の内容や目的が伝わるように意識して伝えている。また、併せて子どもたちの取り組む姿、成長を伝えられるようしている。
	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	0%	100%	今後実施予定である。
保護者への説明責任等	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に重要事項説明書で運営規定や利用料金について説明をしている。
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100%	0%	0%	児童の様子や指導員の関わり方等について、分かりやすく簡潔に伝えるよう努めている。また、必要に応じて、家庭や学校での様子についても保護者から聞くなどし、より良い療育ができるよう、支援をアップデートしている。
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	0%	100%	保護者会はないが、ペアレントトレーニングなど、保護者同士の交流、意見交換できるような場を設け、保護者支援も行っていきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	相談や申し入れについては、都度上長や併用先管理者に報告し、迅速対応を心がけている。
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%	SNSやホームページを通して、活動内容を発信している
	34	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%	書類関係の保管は鍵付きの書庫で保管している。児童が使用するロッカーの名前も来客に見えないように、提示している。
	35	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%	0%	0%	発達特性に応じて絵カードを使用し、意思疎通が円滑に行えるように配慮している。
	36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0%	0%	100%	地域住民や地域の関係機関の方に、みらいずリズムの活動や効果等を発信していき、知ってもらえるように手段を考え、実践していきたい。
	非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	100%	0%	0%
38		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100%	0%	0%	地震が続いた際には、職員間で地震を想定して役割や必要物品の確認、緊急連絡先の登録の確認をしている。
39		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100%	0%	0%	虐待防止委員会を定期的実施し、他職員も事業所内研修を受けるようにしている。
40		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	100%	0%	0%	契約時に保護者に説明をしている。また、職員間で活動中における児童の行動想定を検討し、児童が安全に活動できるようにしている。
41		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%	0%	0%	利用時に、保護者にアレルギーの有無の確認をしている。必要に応じて、医師の指示にしたがって支援していく。
42		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	0%	100%	0%	事例集はないが、ヒヤリハットが起こった際には、ケア記録に記し、また職員間でも検証、改善策を出し、再発防止に努めている。記録の残し方について再検討していく。